

● 明治22年1889年～大正15年1926年

# 明治から大正、市制の草創期

## 明治22年(1889年)に成立した現仙台市域の市町村



	新町村名	旧村名	役場位置
宮城郡	原町	南目、苦竹、小田原、仙台区北六番丁の一部	南目
	大沢村	芋沢、大倉	芋沢
	広瀬村	郷六、上愛子、下愛子、熊ヶ根、作並、名取郡長袋字白沢および道半の一部	上愛子
	泉岳村	根白石、福岡、西田中、朴沢、小角、実沢	根白石
	七北田村	上谷刈、古内、野村、七北田、市名坂、松森、北根、荒巻	七北田
	七郷村	南小泉、蒲町、霞目、伊在、六丁目、長喜城、荒井、荒浜	荒井
	高砂村	福室、岡田、田子、蒲生、中野	田子
名取郡	岩切村	岩切、小鶴、燕沢、鶴ヶ谷	岩切
	生出村	茂庭、坪沼	茂庭
	秋保村	境野、湯元、長袋、馬場、新川	長袋
	中田村	前田、柳生、袋原、四郎丸	前田
	茂ヶ崎村	長町、郡山、仙台区のうち字宮沢	長町
	西多賀村	大野田、富田、富沢、鉤取、山田	富沢
	六郷村	日辺、沖野、飯田、今泉、二木、種次、井土浜、藤塚浜	二木

(「仙台市史 通史編6 近代1」より)

■ : 宮城郡 ■ : 名取郡

(資料提供: 仙台市博物館)



市制施行当時の市役所庁舎

● 明治22年 1889年 (資料提供: 風の時編集部)



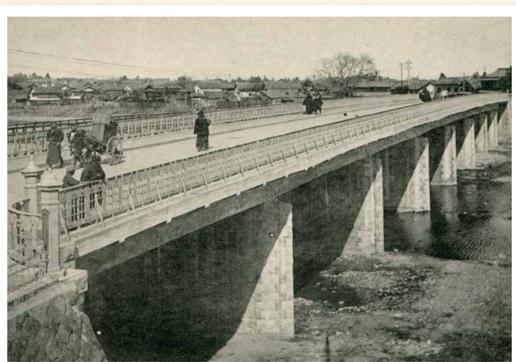
国分町(芭蕉の辻付近から北方を写したもの)

● 明治30年代 (資料提供: 仙台市戦災復興記念館)



東一番丁

● 明治後期 (資料提供: 仙台市歴史民俗資料館)



明治42年(1909年)に完成した日本最初の鉄筋コンクリート橋である広瀬橋

(資料提供: 仙台市博物館)



仙台駅

● 大正4年 1915年 (資料提供: 仙台市歴史民俗資料館)



市電開通

● 大正15年 1926年 (資料提供: 仙台市戦災復興記念館)



# ●昭和20年1945年～昭和41年1966年

## 戦災復興から、新たなまちづくりへ



仙台空襲(焦土と化した市中心部)  
●昭和20年 1945年 (資料提供:河北新報社)

仙台空襲で市中心部全焼  
被災戸数約1万2千戸、  
死者1,399名  
(氏名判明1,064名、身元不明335名:  
仙台市戦災復興記念館資料「戦災と復興」より)  
●昭和20年 1945年



バラック小屋が  
建ち始めた東一番丁  
●昭和21年 1946年  
(資料提供:仙台市戦災復興記念館)

仙台七夕  
10年ぶりに復活  
●昭和21年 1946年



青葉通東五番丁で車道舗装  
●昭和26年 1951年 (資料提供:仙台市戦災復興記念館)



南町通・青葉通  
●昭和26年 1951年 (資料提供:仙台市戦災復興記念館)



仙台の表玄関口、仙台駅前・青葉通口  
●昭和37年 1962年 (資料提供:仙台市戦災復興記念館)

旭ヶ丘で実施された  
仙台市で初の  
住居表示  
●昭和40年 1965年頃  
(資料提供:仙台市戦災復興記念館)



市役所旧庁舎(背後の建物は新築された現庁舎)  
●昭和40年 1965年頃 (資料提供:仙台市博物館)



